

融資・債券分科会

直近の活動報告

- 2/20 分科会：ガイドラインアップデートに向けて実施したアンケート結果共有
- 3/6 コアチーム：ガイドライン 意見摺合せ
- 3/13 分科会：ガイドライン 進捗共有
- 4/3 コアチーム：ガイドライン ヒアリング先確認
- 4/17 分科会：ガイドライン進捗、ウィッシュリスト

活動から得られたFindings（学び）

- 融資・債券のインパクトファイナスとしてのエンゲージメントの課題について、共有・見える化する重要性
- プロダクト毎のエンゲージメントの取り組みとその多様性の確認を踏まえて、更なる発展への期待

今年度（2025年）注力したいポイント

<今年度注力したいポイント>

- ✓ 今年度のプロダクト別エンゲージメントにおける整理を踏まえ、より広義でのエンゲージメントの在り方の整理
- ✓ 直関比率が5：5という日本の金融資本市場における融資・債券のインパクトファイナスの特徴の整理・共有
- ✓ 裾野拡大に向けた施策の協働推進（参入基準とのバランス）や、グローバル基準の知見獲得と発信

<理由>

- ✓ アセットオーナーの視点を含め、より包括的な議論、アセットクラス間のIMM知見共有、ならびに、日本エッジ確立※の前提として、分科会横断でエクイティに加えてデットの共通理解が必要であるため
- ✓ 当分科会の議論がIMM高度化に集中する傾向あり、アセットクラス横断での裾野拡大にかかる議論強化を展望しているため

※他方で過度な日本視点の解消要

ガイダンスについて

ガイダンス アップデートに向けて

<経緯>

- 2023年7月 GSGより
「デットにおけるインパクトファイナンスの考え方とインパクト測定・マネジメント ガイダンス」公表
- 2023年12月 融資・債券分科会 スタート
インパクトファイナンス事例共有の勉強会、参入基準に関するディスカッションを実施
- 2024年夏～秋
融資・債券分科会にて、ガイダンスアップデートに関して議論、コアチームメンバーを中心に執筆検討

<今後>

- 2025年 夏目途
ガイダンスのアップデート（別冊として）公表予定

ガイダンス 目次（案）

- 第1章 はじめに
- 第2章 エンゲージメント編 作成の背景
- 第3章 エンゲージメントの実践課題
- 第4章 エンゲージメントの実践に向けて
- 第5章 融資・債券におけるインパクトファイナンスの発展に向けて
- Appendix ファイナンス毎のエンゲージメントの実践